

とよのつこ

学校便り

長野市立豊野西小学校



平成22年度

平成22年度3学期 スタート！

1月7日（金）、女台業式が行われ、平成22年度3学期がスタートしました。児童代表として6年生が新年の決意や3学期の目当てを発表してくれました。



- ・「小学校にいる時間を大切に過ごす」今のクラスでいる時間を大切に
- ・「児童会活動のまとめをする」活動をやり遂げることときちんと引き継ぎをする。
- ・「にこにこ こつこつ どんどん はきはき をさらによくする」
- ・「お世話になった学校に恩返しをする」隅から隅まで掃除する。
- ・「中学校に向けての心構えをしっかりとっていく」

校長先生からは、今年の卯年にかかわって「干支のはじまり」の話（裏面参照）をしていただきました。

新しい年のスタートとともに、どの子も夢や目標をもって、希望を新たにしたいと思います。それに向かって努力し、ウサギにあやかって大きくジャンプする1年であってくださることを願っています。同じウサギの話でも、「うさぎとかめ」のウサギや、「待ちぼうけ」の男のようにならないよう、持てる力を出し切ったり、積極的に物事に取り組んでほしいと思います。

3学期はまとめの学期でもあります。日数的には短い3学期ですが、新年（平成23年）のスタートダッシュと、1年間（平成22年度）のまとめとが重なる大切な学期です。どの子も健康でがんばってくれることを願っています。

大変寒かった1月でした。近隣の学校ではインフルエンザ流行、の話が聞こえてきます。今のところ豊野西小学校にはインフルエンザは入ってきていませんが、いつ流行りだしてもおかしくない状況です。手洗い、うがい、換気など、今後も予防対策を続けていきます。うがい用のお茶の用意等、家庭のご協力も引き続きお願いいたします。

1月のトピックス

スキー教室 4～6年（13日）

寒波の来るほんの数日前に実施したので、お天気に恵まれた、楽しいスキー教室となりました。

最後の大きな野外学習でしたが、けがをする子がなく、無事終わられてよかったです。



PTA総務部からのお知らせ

昨年のお秋にご協力いただきました資源回収で、253,380円の収益を得ることができました。収益金は、学校環境の整備など、子どもたちのために使わせていただきたいと思います。

地域の皆様にご協力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

3 学期始業式校長先生のお話

平成 23 年 1 月 7 日

全校の皆さん集まっていますので新年の挨拶をします。新年あけましておめでとうございます。いいお正月を過ごせたでしょうか。31日の夜にお参りに出てみました。いつもは静かな夜も、たくさんの方が出ていて賑わっています。年が明けるのを合図に花火が上がりました。善光寺にはお参りをしている人たちが列をつくってならんでいました。先生も豊野西小学校がいい学校であってほしいな、今年も頑張ろう、家族みんなが安らかであってほしいな、そんなことを願った年の初めでした。終業式で、まずはこうなりたい！と強く願うことが大切というお話をしました。皆さんもそれぞれの願いを持って迎えた新しい年だと思います。友達が新年の決意を発表してくれました。あと、50日学校にすれば卒業式。1年生は2年生に、2年生は3年生にと学年がひとつあがります。6年生は中学生になります。3学期は次の学年に向けてのとても大切なことですね。しっかり過ごしましょう。さて、今年は何年でしょうか。この干支というのは、12年に1回回ってきます。ですから、自分の干支が回ってくるのが、小学生の5～6年生が最初ということになります。自分の干支が回ってくるのが楽しみの方もいるのではないのでしょうか。聞いたことのある人も多いと思いますが、今日は、この干支について昔から伝えられているお話をしましょう。



むかし、ある年の暮れ、神様は動物たちにお触れを出しました。「お正月の朝、御殿に来るように。来たものから、順番に1年ずつその年の大将にしよう。」

動物たちは自分こそ一番乗りだと大騒ぎしました。「ちょいとねずみさん、神様の所に行くのはいつだったっけ」「あれねこさん忘れたの？あんましはしゃぐから。あのね、正月の2日だよ」ネズミさんはわざと1日遅らせて教えました。うしは、まえの晩からごそごそ支度をしていました。「あれ、うしさんもう出かけるの？」ねずみがききます。「ああ、わしはのろいからのう。今から行けばちょうどいい」それをきいたねずみは、こそっとうしの背中に飛び乗って、

あとは背中ですやすやす。やがて、朝になり、御殿の門がぎ～とあいた。門の前で、待っていた牛は、さあ入ろうと立ち上がった。すると、ねずみはちゃっかり飛び込んだ。前の日から頑張ったうしは、2番になってしまった。とらは足が速いのが自慢だ。でも、その油断が命取り。前の日から歩いているうしやねずみにはかなわない。とらが門の前に立ったときは、ねずみやうしが入った後だった。やがて足の速いうさぎも入ってきた。

「わしは地面を這うのはいやだね。」たつは雲に乗って移動した。へびは「わしは、踏んづけられたくない」へびは、わきみちを歩いた。

うま、ひつじ、きつね、たぬき、しか、おおかみ、りす、つる、かめ、いたちはいっしょに出発しました。でもぶつかったり転んだりしてなかなか走れません。そこをうまくすり抜けられたのは、うまとひつじだけでした。

「おまえも行くのか」「行っちゃいけないか？」仲の悪いいぬとさるは、けんかをしながら御殿を目指します。

そこに、人の良いとりが中に入り、「まあ、まあ、おふたりさん、けんかをやめて御殿を目指そう」3人で歩きます。

いのししは得意の暴走です。でも、まっすぐに走っているいのししは、御殿を超えても猛スピードで走り抜けてしまいました。あわてて、引き返しましたが、最後になってしまいました。12の頭数そろったところで、門は閉められてしまいました。

「おお、集まったか、ご苦労。では、約束通り、到着順に1年ずつ大将に任命しよう。ねずみ、うし、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、にわとり、いぬ、いのししの順だな」

神様が決めました。これが、十二支となったということです。

さて、ねずみから2日と聞かされたねこは、次の日御殿にでかけて門をたたきました。「おまえ、なんで今頃くるんだ、もう大将の順番はきめてしまったんじゃ」神様に言われ、ねこは怒り心頭に達しました。「ねずみのやつ！俺をだましたな」それ以来ねこは、ねずみを見ると追いかけるようになったということです。



どうですか。なかなかおもしろいことを考える人がいますね。今日は、3学期の始めにちなんで、干支のお話をしました。